

「青野原駐屯地隊員・家族とのサツマイモ収穫祭」

東播支部（支部長：石田真一）は、10月18日（土）及び11月1日（土）の二日間にわたり、青野原駐屯地隊員並びに隊員ご家族をお迎えし、サツマイモ収穫祭（芋ほり大会）を開催いたしました。

当日は支部会員が午前8時より準備を整え、隊員・ご家族の皆様には午前10時までに現地に集合いただきました。10月18日は支部長以下会員24名、隊員15世帯、47名、計71名が参加。11月1日は支部会員20名（同伴1名を含む）、隊員14世帯、41名、計61名が参加し、両日とも盛大に収穫祭を催すことができました。

両日とも前日は雨天に見舞われましたが、収穫当日は幸い曇天ながら過ごしやすく、まさに収穫祭にふさわしい日和となりました。参加者一同、秋の恵みに感謝しつつ交流を深め、良き親睦の機会となりました。

今年は、サツマイモのツルの植え付け後、二度にわたり鹿の侵入による被害を受け、青々と茂り始めた葉が食害される事態となりました。これを受けて鹿対策を強化したものの、天候不順も重なり生育が思わしくなく、再度苗を購入して植え付けを行いました。その後は順調に成長し、ツルを採取して予定していた畝に最終の植え付けを実施いたしました。

毎年、地元会員に声を掛け、害獣（イノシシや鹿）対策の補強のほか、年5回を超える草刈り作業を行っています。天候に左右されながらも、支部一丸となって準備を進め、今年も無事に収穫祭を迎えることができました。

本行事は、年間を通じて支部が現職自衛官やそのご家族と触れ合う貴重な機会です。現職隊員も訓練等の激務により時間の余裕がなく、家族との団欒もままならない状況であると推察しています。少しでもご家族とのひとときを提供できればとの思いから、毎年恒例として行事の最後には、隊員ご家族の前で翌年の実施をお約束し、ご家族のみの参加も歓迎する旨をお伝えした上で、記念写真撮影の後に解散しております。

今年も、参加家族の中には小さなお子様の姿が多く見られ、芋掘りに励む様子と、それを温かく見守るご両親の姿は、支部会員一同にとって心温まる光景となりました。支部としては、来年もこの光景を再び見ることができるよう、力を尽くしてサツマイモの栽培に取り組んでまいります。

なお、今年は青野原駐屯地曹友会長の佐野准尉が初めて参加され、両日とも収穫祭にご同行いただきました。現職隊員・ご家族の参加受付業務など、支部活動を力強くご支援いただきました。佐野准尉からは「隊友会東播支部会員の皆さんが、現職隊員に期待しているという思いが感じられる良い機会であると個人的には感じる事ができ、このような行事に参加する隊員は心も養われるのではないかと思います。」とのご丁寧なお言葉を頂戴し、石田支部長も深く感激され、心より謝意を述べられました。

また、収穫したサツマイモに加え、隣接畝で栽培した里芋、自宅で実った甘柿、形のために販売できない野菜など、多くの品が持ち寄られ、持ち帰りを希望された隊員・ご家族および支部会員にお渡しいたしました。

【サツマイモ収穫祭】 収穫前の準備風景



【第1回目サツマイモ収穫祭】収穫風景



【第2回目サツマイモ収穫祭】収穫風景

